

これまでと、
これからの
——。

開館30周年

O P E N I N G 3 0 t h A N N I V E R S A R Y

記念展

— 豊岡を彩る画家たち —

2019/ 10/20 [日] — 2020/ 2/2 [日]

開館時間 9:30-17:00 (最終入館は16:30)

休館日 毎週水曜日、12/2[月]-12/3[火] (展示替のため)、年末年始

豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 -

Toyooka City Museum of Art - Kiyonaga Itoh Memorial Hall -

伊藤清永 画業 70 年の軌跡

Itoh Kiyonaga's 70th of painter history.

第1弾

第2弾

豊岡市ゆかりの芸術家たち

Related artists of Toyooka city.



開催期間
 2019 10/20 [日]
 2019 12/1 [日]
 2019 12/5 [木]
 2020 2/2 [日]



苦労を重ねた学生時代から、“裸婦の名手”と称されるまで——
 ひとりの画家の人生を辿る。

伊藤清永は 1911 年に豊岡市出石町の寺に三男として生まれ、こどもの頃から僧侶となるための教育を受けながらも画家になることを志します。厳格な父の反対、アルバイトと制作の両立、余命を告げられるほどの大病——様々な困難の中、懸命に画家活動を支えた母や兄弟、そして影ながら応援してくれた父の存在もあり、1936 年、伊勢志摩で海女の姿を描いた大型作品「磯人」で文部省主催の展覧会で選奨を受賞します。その後は絵画研究団体「白日会」の会長就任、1996 年文化勲章受章など多くの功績を残し、一貫して女性美を追求して描いた裸婦像は“発光する裸婦”と称されました。

本展では伊藤清永が油彩を描き始めた中学生時代の作品から光り輝く晩年の裸婦像までを、伊藤清永の軌跡をご紹介します。ひとりの画家が人生を懸けた作品たちをご覧ください。



掲載作品 | 左上から「太鼓櫓」(1926 年)、「磯人」(1936 年) / 右下から「夢」(1962 年) / 「はら」(絶筆) (2001 年) すべて伊藤清永作、豊岡市立美術館・伊藤清永記念館・蔵

日本画、水彩画、油彩画、リトグラフ、
 様々な技法で豊岡を彩る画家たち。

開館から 30 年を迎えた豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 - 。これまで美術館を彩ってきた画家たちの作品とともに、美術館のあゆみをご紹介します。

初展示!

出石生まれの日本画家 小坂 象堂

Shodo Kosaka

小坂 象堂 (1870-1899) は豊岡市出石町出身の日本画家。幼少期より出石焼の絵付けに携わります。日本画を生業としながら各地を巡った後、東京美術学校 (現: 東京藝術大学) の助教授となりますが、将来を期待される中、30 歳の若さでこの世を去りました。当館での展示は初。出石生まれの知られざる偉大な画家の作品をご覧ください。



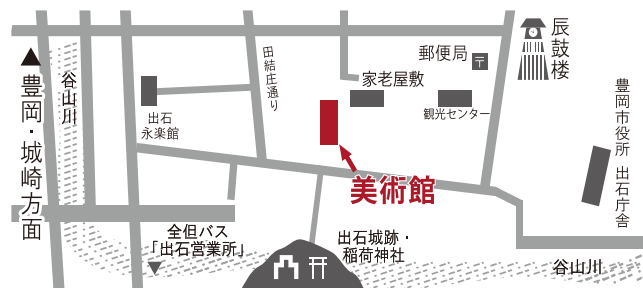
小坂象堂「井邊之婦人」1896 (明治 29) 年 蔵 姫路市立美術館



掲載作品 | 左上から加藤美代三「湖畔」(1979 年)、稲垣久治「日本海」(年不詳)、河原英雄「果籠り」(1986 年)、後藤孝三「かんざし飾りの芸術者」(年不詳) すべて豊岡市立美術館・伊藤清永記念館・蔵

アクセス - Access -

- ▶ 車 (京阪神から 140 分、姫路から 100 分) 中国自動車道 (吉川 JCT) → 舞鶴若狭自動車道 (春日 IC) → 北近畿豊岡自動車道 (八鹿水ノ山 IC) → R312 → 県道 2 号 → 出石到着
- ▶ 公共交通機関 (JR 山陰線 → 全但バス) JR 豊岡駅または八鹿駅下車後、全但バス (出石行) に乗車 → 出石営業所から徒歩 5 分



入館料 - Admission -

一般 500 円 / 大高生 300 円 / 中学生以下無料
 ※65 歳以上の方、障害者手帳所持の方、JAF 会員の方は
 証明書をご提示で割引

主催 - Sponsor -

豊岡市
 豊岡市立美術館開館 30 周年記念事業実行委員会



Facebook、Instagram 随時更新中! 開館日や展覧会情報の他、展示の小話や美術館の裏側などなど、たのしい情報をお送りしています。
 Facebook: 伊藤清永記念館 / Instagram: museumitoh で検索 🔍

豊岡市立美術館 - 伊藤清永記念館 - Toyooka City Museum of Art - Kiyonaga Itoh Memorial Hall -

〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町 98
 TEL 0796-52-5456 FAX 0796-53-2088

<http://www.city.toyooka.lg.jp/kanko/miru/itoh-museum>

